

台東区 入退院時情報連携シート コラム

令和4年9月号 No. 9

「病院に直接連携シートを持っていけない!」～コロナ禍でのケアマネの困りごと～

入退院時情報連携シートは、医療と介護の関係機関がお互いに必要な情報を円滑に共有するためのツールであり、ケアマネジャーが連携シートを直接病院に持ち込むことで、顔の見える関係づくりのきっかけになっていました。コロナ禍になって3年、まだまだ病院での面会制限が続く中、入退院支援においてケアマネジャーの多くはこのような悩みを抱えています。



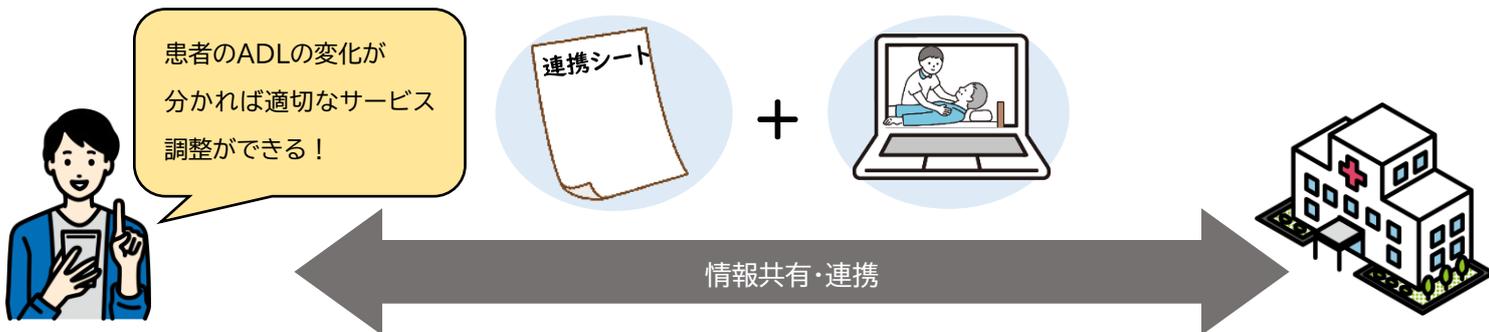
今までのような「顔の見える連携」が取りづらい…
本人との面談ができなくて、ADLなどの現状が把握しにくい



退院時に聞いていた情報と実際の本人の状況が異なっている

リモートで患者の様子分かるようにしてほしい!

これまでは、連携シートのやり取りに加えて、患者本人に面会して直接状況を確認することで、退院後の生活イメージを共有することができていました。しかし、コロナ禍で面会ができないため、電話で聞き取りした情報と本人の状態にギャップが生じることがあります。そのため「オンライン上でも患者の状況を確認できたら…」というケアマネジャーの声は多いです。



また、「看護サマリーなどの医療情報はケアプラン作成に活用するため、早めに共有してほしい」という声もありました。コロナ禍でこれまでのような連携体制を維持していくためにも、情報共有は密に行っていくことが大切です。

こんなお声もありました

コロナで複数患者の入退院が続いてしまい連携シートの提出が間に合わなかった…!



早期に連携シートを提出できるように事前準備をお勧めします。
連携シートの1ページ目、「シート作成元(事業所情報)」「A 基本情報」などの項目は事前に記載(入力)しておくことで、連携シートを作成する時間を短縮できます。



(発行) 台東区 健康課 在宅療養連携担当 電話:(5246)1215